

JASS・神戸大学東京六甲クラブ共催 クラシックコンサートシリーズ 2019冬の演奏会

<音楽史シリーズ> 第7回

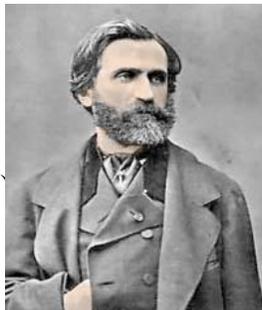
華麗なイタリアオペラの名唱をどうぞ

【演奏曲目】

ヴェルディ作曲「仮面舞踏会」

2重唱(アメリカ、リッカルド)
私はおまえのそばにい
アリア (アメリカ)
私は死にましよう
アリア (リッカルド)

もしも私が永遠におまえを失ったとしても



プッチーニ作曲「蝶々夫人」

アリア(蝶々さん)
ある晴れた日に
2重唱 (蝶々さん ピンカートン)
愛の2重唱
アリア (ピンカートン)
さらば愛の巣
アリア (蝶々夫人)
さよなら坊や



【出演者】

ソプラノ 早河明子
国立音大卒。日本演奏家コンクール第1位。日本とルーマニア他ヨーロッパ各国の歌劇場にて「椿姫」「仮面舞踏会」「トスカ」「トロヴァトーレ」「道化師」「蝶々夫人」「トゥーランドット」等、主要オペラの主役として数多くの公演に招聘される。オペラピアチエーレ主宰。

テノール 勝又 晃
国立音大卒。日本オペラ振興会育成部終了。'90～'93まで渡伊。太陽カンツォーネ・コンコルソ第2位、イタリア声楽コンコルソ入選。多くのオペラの主役出演の他、第9、メサイアなどのソリストを務める。イタリアのヴェルディ劇場にて「アイーダ」ラダメス役で出演。

ピアノ 渡辺久仁子
東京芸大を卒業後、ドイツに留学。2005年湘南エールアンサンブルの団員として、ヨーロッパ演奏旅行に同行し、英、仏、チェコで室内楽を演奏。湘南ヤマハフィルとラフマニノフの協奏曲を共演。

[解説] 中島良能、指揮者
神戸大学経営学部卒業